

# ハヤブサ

*Falco peregrinus* Tunstall

## タカ目ハヤブサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

### 選定理由

鳥類の捕食者として海岸部の生態系の頂点に位置する鳥で、繁殖は局地的であり、繁殖個体数は多くない。

### 形態

全長雄は約40cm、雌は約50cm。翼開長1m前後。雄よりも雌がかなり大きい。ハシボソガラスよりもやや小さいタカで、体、翼、尾の上面は暗青灰色、顔にはひげ状の黒斑がある。下面は白く腹と脇の羽毛に黒い横斑がある。幼鳥の上面は暗褐色で、下面は淡い茶色で暗褐色の太い縦斑がある。

### 国内分布

北海道から九州までの海岸や小島の断崖などで繁殖する。冬期には大陸から越冬のために渡ってくる個体群があり、海岸、湖沼、原野などで観察される。

### 県内分布

能登半島と加賀地方の海岸で繁殖が確認されている。また近年は金沢市内のビルで繁殖するものも複数見られており、繁殖個体数はかつてに比べて増加している。越冬期には冬鳥として渡来するものがあり、各地で姿が見られる。

### 生態

岩山や海岸の断崖に営巣する。産卵期は3～4月で、一腹卵数は3～4個、抱卵日数は30日前後、孵化後40日前後で巣立ちする。断崖の棚や木の枝などの見張り場に止まって鳥を待ち、獲物を定めると上空から急降下して足でつかみとる。餌は小型・中型の鳥類である。

### 生息地の条件

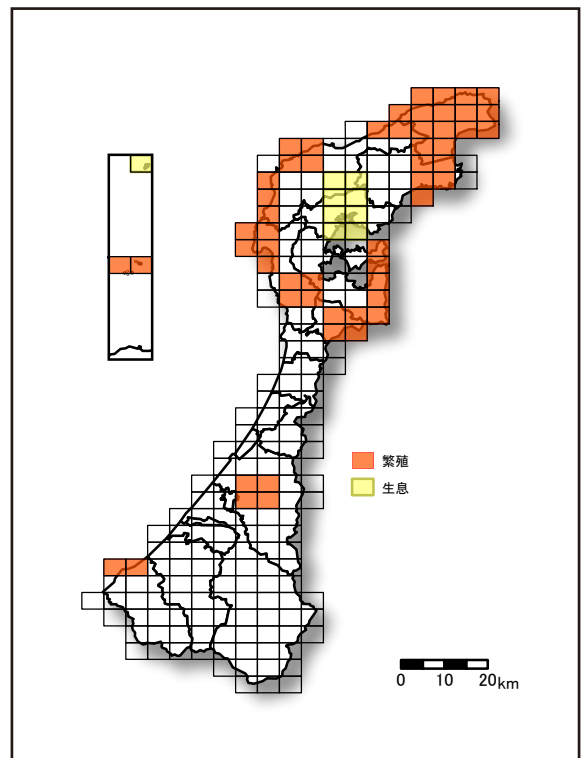
繁殖には、営巣地としての外敵が近づきにくい海岸の断崖や岩山と、餌となる鳥類の豊富な狩り場が必要である。

### 生存の危機

確認されている繁殖個体数は多くない。また、釣り人の侵入などにより、繁殖環境が脅かされつつある。また、密猟の危機に常にさらされている。(A)

### 特記事項

国内希少野生動物種。



県内の分布